



台湾の仲間を、金沢でお迎えしませんか

第5回 日台ロータリー親善会議のご案内

日台ロータリー親善会議総裁 板橋 敏雄

第5回日台ロータリー親善会議実行委員長

第2610地区ガバナー

柳生 好春

日台ロータリー親善会議（台湾では「台日国際扶輪親善會」：法律で認められた法人団体です）の発足は、2007年2月に開催された第2580地区の地区大会で国際ロータリー（R I）会長代理を務められた林士珍パストガバナー（P G）と佐藤千壽P G（故人）、前川昭一P G、小澤秀瑛ガバナー（当時）をはじめとする皆さまの歓談の中で「日韓親善会議があるのになぜ日台親善会議がないのか？」という共通の思いから始まりました。2008年5月に第1回日台ロータリー親善会議が東京で開催されて以来、第2回は台中・日月潭、第3回は京都、第4回は台北と回を重ねてきました。

皆さまもご存じの通り、日本と台湾は政治的には国交がないなどの課題はありますが、経済・文化をはじめ、お互いにさまざまな分野での交流を深めています。特筆すべきは、東日本大震災と福島原発事故に際して多額の義援金をいただいたことであることは言うまでもありません。国を超えた人間同士の温かい絆が存在すること

に他ならないものと確信しております。もちろんロータリーにおいても日台間で姉妹クラブや友好クラブを締結している例もたくさんあります。

ところで、なぜ金沢での開催となったのでしょうか？実はここにも一つの物語があります。日本統治時代の1930（昭和5）年、インフラの整備がまだ整っていない時代、台湾南部の嘉南平野に嘉南大圳（烏山頭ダム）が建設され、多大な恵みをもたらしました。このダムの建設を担ったのが、金沢出身の技師、八田與一氏です。氏の偉業は毎年命日に烏山頭ダムで慰霊祭が行われるばかりでなく、台湾の教科書にも紹介されています。さらに氏は当時まだ日本でもロータリークラブ（R C）の数が少ない中、台北R Cの会員でもありました。

このように、さまざまご縁をいただき、第5回日台ロータリー親善会議を来る6月5日に金沢で開催いたします。ソウル国際大会の直後とはなりますが、多数のご参加をお待ち申し上げます。

開催日 2016年6月5日 13:00～

会場

- ・会議・式典 石川県立音楽堂コンサートホール
- ・懇親会 ホテル日航金沢（いずれもJR金沢駅前）

登録料 2万円

登録締切 2016年2月29日

※ 詳細は、各地区ガバナー事務所にご案内いたします。クラブを通し、各地区のガバナー事務所にお申し込みください。

プログラム

13:00～14:00 登録受付

14:00～15:20 会議、あいさつ、活動報告

15:40～17:10 記念講演 田中作次元R I会長
黄其光直前R I会長

18:00～20:00 懇親会

お問い合わせは

第5回日台ロータリー親善会議実行委員長 柳生好春
第2610地区ガバナー事務所

Tel. 076-245-5575 Fax. 076-245-5576

E-mail yagy15-16@rotary2610.jp